

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-048493
 (43)Date of publication of application : 23.02.1999

(51)Int.CI.

B41J 2/175

(21)Application number : 09-220904
 (22)Date of filing : 01.08.1997

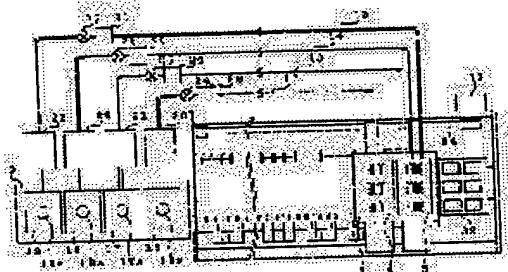
(71)Applicant : SEIKO EPSON CORP
 (72)Inventor : MOCHIZUKI SEIJI

(54) INK JET RECORDER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To dispense with supplying a deaired ink externally by constructing an ink container as a source tank to which ink can be injected externally and supplying ink to a recording head through a deairing means comprising means for heating the ink up to a normal temperature or above between the source tank and the recording head.

SOLUTION: A cover 16a is closed after ink is injected into a source tank 16 and a stop valve is opened and then a vacuum pump is operated to supply ink from the source tank 16 to a deairing unit 20 by means of a liquid feed pump. Ink flowing into the container of the deairing unit 20 is heated up to a normal temperature or above by means of a heater in order to lower the solubility of gas. It is further subjected to a negative pressure and dissolving air is liberated and discharged to the outside. When a stop valve 24 is opened after the dissolving air is discharged from ink and the ink is cooled down to a temperature suitable for printing by stopping the heater and operating a fan, an ink bag 50 constituting an interconnecting tank 28 receives the ink deaired through the stop valve.





(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-48493

(43) 公開日 平成11年(1999)2月23日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I
B 4 1 J 3/04

1022

審査請求 未請求 請求項の数 8 FD (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平9-220904

(22) 出願日 平成9年(1997)8月1日

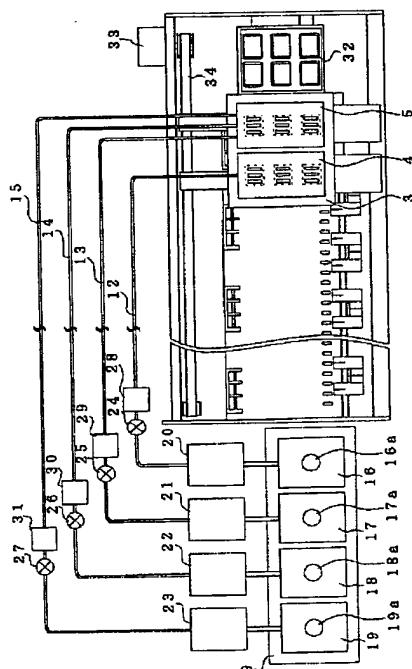
(71)出願人 000002369
セイコーペンソ株式会社
東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
(72)発明者 望月 聖二
長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコ
一エプソン株式会社内
(74)代理人 弁理士 木村 勝彦 (外1名)

(54) 【発明の名称】 インクジェット式記録装置

(57) 【要約】

【課題】 外部から脱気インクの補給を不要とするとともに、インク補給後の記録ヘッドへのインク充填操作を不要とすること。

【解決手段】 インク容器が外部からインクの注入が可能な元タンク 16～19として構成され、元タンク 16～19のインクを常温以上に加熱する脱気装置 20～23を介して記録ヘッド 4、5に供給し、インクタンク 16～19のインクをインクエンドとなる以前に脱気装置 20～23により脱気して記録ヘッド 4、5に供給する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 印字信号に対応してインク滴を吐出する記録ヘッドをキャリッジに搭載し、インク容器から送液手段によりインク供給チューブを介してインクを前記記録ヘッドに供給するインクジェット式記録装置において、

前記インク容器が外部からインクの注入が可能な元タンクとして構成され、前記元タンクから前記記録ヘッドの間にインクを常温以上に加熱する加熱手段を備えた脱気手段を介して前記記録ヘッドに供給するインクジェット式記録装置。¹⁰

【請求項 2】 前記加熱手段が前記記録ヘッドと前記元タンクとの間に接続された容器に設けられている請求項 1 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 3】 前記容器に負圧付与手段が接続されている請求項 2 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 4】 前記加熱手段が前記元タンクに設けられている請求項 1 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 5】 前記元タンクに負圧付与手段が接続されている請求項 4 に記載のインクジェット式記録装置。²⁰

【請求項 6】 前記記録ヘッドと前記脱気手段の間に第 2 のタンクが接続されている請求項 1 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 7】 第 2 のタンクにインクニアエンド検出手段が設けられている請求項 6 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 8】 第 2 のタンクが可撓性を有するインク袋により構成されている請求項 6 に記載のインクジェット式記録装置。

【発明の詳細な説明】

30

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インクジェット式記録ヘッドを用いて大判の記録媒体に印刷を行うインクジェット式記録装置、より詳細にはインクの供給装置に関する。

【0002】

【従来の技術】インクジェット記録装置は、インク供給源からインクの供給を受ける記録ヘッドを記録用紙の紙巾方向に往復動させて印刷する関係上、大量の印刷を行う記録装置にあっては、インク供給源を筐体に設置し、⁴⁰ チューブを介して記録ヘッドにインクを供給する手法が採られている。

【0003】ところで、インクジェット式記録装置は、圧力発生室のインクを加圧してインク滴を発生させる関係上、インクに気泡が含まれていると、インクの加圧力が低下してインク滴の吐出性能も低下するため、記録ヘッドに溶存空気を含まないインクを供給する必要がある。このため、工場で十分に脱気されたインクをインクカートリッジや、インク袋に収容し、遮気容器に梱包したもののが商品として提供されている。ところが、大判の⁵⁰

記録媒体を用いてポスター等を印刷するインクジェット式記録装置にあっては、印刷時に大量のインクを消費するため、図 5 に示したように脱気インクを封入した可撓性を有するインク袋 A と、インクニアエンド状態及びインクエンド状態にインクエンド検出器を作動させるインクエンド検出板 B とをケース C, C' に収容して構成したインクカートリッジがインク補給手段として用いられている。

【0004】インク袋 A は、ガスバリヤー性を確保するためにアルミ箔を中間層として 2 枚のフィルム、例えば外側をナイロンフィルム、内側をポリエチレンフィルムにより挟み込んだアルミラミネートフィルムにより構成され、遮気性を損なうこと無く、インク量に応じて柔軟に変形する袋として機能する。

【0005】しかしながら、インク量が多くなって袋の容量が大型化すると、袋となる材料には強度が必要となり、袋の剛性が高くなる。このようにインク袋の剛性が高くなると、記録ヘッドへのスムーズなインクの補給が困難となり、通常 500cc 程度が上限となり、インク袋の大型化には限界がある。また、記録装置との接続を、インク供給口 D に形成されたゴム等の弾性材料からなるセプタム E にインク供給インクチューブのインク供給針を装入して行うため、着脱時にエアがインク供給路に侵入し、したがって印刷途中でインク切れを起こした場合には、記録ヘッドへのインクの再充填操作を必要として作業能率が低下するという問題がある。さらには絶対量として残量が多いくとも、これから行う印刷量にはインク切れとなるような残量の場合には、作業能率を優先させて新しいインク袋に交換するなどの対応を探るため、インクに無駄が生じたり、またインクの充填操作を必要とする等の問題もある。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであって、その目的とするところは外部から脱気インクの補給を不要とするとともに、インク補給後の記録ヘッドへのインク充填操作を不要とするインクジェット式記録装置を提供することである。

【0007】

【課題を解決するための手段】このような課題を達成するために本発明においては、印字信号に対応してインク滴を吐出する記録ヘッドをキャリッジに搭載し、インク容器から送液手段によりインク供給チューブを介してインクを前記記録ヘッドに供給するインクジェット式記録装置において、前記インク容器が外部からインクの注入が可能な元タンクとして構成され、前記元タンクから前記記録ヘッドの間にインクに常温以上に加熱する加熱手段を備えた脱気手段を介して前記記録ヘッドに供給するようにした。

【0008】

【作用】インクタンクのインクをインクエンドとなる以前に脱気手段により脱気して記録ヘッドに供給して、インクカートリッジの交換による脱気インクの補給を不要とする。

【0009】

【発明の実施の形態】そこで以下に本発明の詳細を実施例に基づいて説明する。図1は、本発明の一実施例を示すものであって、印刷対象となる記録媒体の幅よりも若干広めに形成された窓1を形成するフレーム2を備え、窓1の上部にはキャリッジ3により紙幅方向に往復案内10されるインクジェット式記録ヘッド4、5が、また下方には記録用紙を支持する用紙ガイド部材6が設けられて、前面の操作し易い側の端部には制御パネル7が、また他側にはカバー8により開閉可能なインクタンク収納部9が形成されている。

【0010】図2は、本発明の一実施例を示すものであって、キャリッジ3は、ブラックのインクを吐出する記録ヘッド4と、イエロ、シアン、マゼンタのインク滴を吐出する記録ヘッド5と、必要に応じてキャリッジの往復動に起因するインク圧力の変動を緩和するバッファタンクを搭載し、後述するインク供給システムからインク供給チューブ12、13、14、15を介して輸送されたインクをバッファタンクを介して、または記録ヘッド4、5に直接供給するように構成されている。

【0011】インク供給システムは、蓋16a～19aによりインクの補給が可能な元タンク16～19、脱気装置20～23、止弁24～27、及び遮気性を備えた中継タンク28～31から構成されている。元タンク16～19にはそれぞれインクニアエンド検出手段16b～19bが設けられている。

【0012】また非印字領域には、非印字時に記録ヘッド4、5のインク乾燥に起因する目詰まり防止と、記録ヘッド4、5へのインクの初期充填や目詰まり解消のために負圧を作用させるキャッピング装置32が設けられている。なお、図中符号33は、タイミングベルト34によりキャリッジ3に接続するキャリッジ駆動モータを示す。

【0013】脱気装置20～23は、それぞれ同一構造のものとして構成され、例えば脱気装置20に例を採つて説明すると、両端に上部空間が吸引ポンプ40に連通され、一端にインク流入口41が、他端にインク流出口42を備えた容器43の底部にインクを常温以上で、かつインクに変質を招かない温度、例えば60°C程度に加熱するヒータを設けて構成され、インク流入口41が止弁45を介して元タンク16に接続する送液ポンプ46に接続されている。なお、図中符号47は、冷却用のファンを示す。

【0014】中継タンク28～31は、やはりそれぞれ同一構造のもとして構成され、例えば中継タンク28に例を採つて説明すると、この実施例ではガスバリヤー性50

を確保するためにアルミ箔を中間層として2枚のフィルム、例えば外側をナイロンフィルム、内側をポリエチレンフィルムにより挟み込んだアルミラミネートフィルムを用いた可撓性の袋50に、設置されたとき最上部となる位置にエア溜め部51を形成して構成され、一端を流入口52とし、また他端を流出口53としてインク供給チューブ12に接続されている。

【0015】エア溜め部51は止弁54を介して大気に開放され、また袋50の変形度合を検出する検知板55が設けられていて、袋の変形度合による検知板55の変位を図示しないリミットスイッチ等により検出することにより、インク充填時のインクフル状態を、また印刷時のインクニアエンド状態を検出できるように構成されている。

【0016】次にこのように構成した装置の動作の内、インク補給を中心にして記録ヘッド4に接続する流路に例を採つて説明する。インク元タンク16の蓋16aを空けてインクを注入し、注入後に蓋16aを閉める。この状態で止弁45を開放し、真空ポンプ40を作動させて送液ポンプ46により元タンク16から脱気装置20にインクを供給する。容器43に流れ込んだインクはヒータ44により常温以上に加熱されて気体の溶解度を低下させ、さらに真空ポンプ40による負圧を受けて溶存空気を遊離させ、真空ポンプ40により外部に放出する。

【0017】インクの溶存空気が排出された段階で、ヒータ44への通電を停止し、ファン47を作動させてインクを印刷に適した温度まで冷却する。冷却が終了した段階で、止弁24、及び54を開弁すると、インクは中継タンク28に流れ込み、中継タンク28を構成しているインク袋50は、内部のエアを止弁54を介して大気に放出しながら流れ込んでくる脱気インクを収容する。

【0018】このようにして所定量のインクがインク袋50に充填されると、検知板55によりインクフルが検出されるので、止弁24が閉弁されてインク袋50へのインクの補給が終了する。そして止弁54が閉弁されて中継タンク28が大気と遮断され、また送液ポンプ46が停止される。

【0019】インク袋50にインクの充填が終了した段階で、記録ヘッド4をキャッピング装置32により封止し、図示しない吸引ポンプにより記録ヘッド4に負圧を作用させてインク袋50から記録ヘッド4までの流路内の空気をインクにより追い出しながらインクを充填する。

【0020】記録ヘッド4へのインクの充填が終了した段階でホストから印刷データを出力すると、記録ヘッド4は印刷データに対応してインク滴を吐出しながら印刷を実行する。インク袋50は、記録ヘッド4で印刷により消費される量に対応して変形してインクを記録ヘッド4に供給する。

【0021】このようにしてインク袋50のインク量がニアエンドまで減少すると、検知板55により検出される。これにより、真空ポンプ40が作動し、また止弁45を開放して送液ポンプ46により元タンク16のインクを脱気装置20に供給して、前述と同様の手順でインクの脱気を行う。脱気が終了した段階で、止弁54を開弁してインク袋50を大気に開放させ、また流路の止弁24を開放して脱気装置20のインクをインク袋50に注入する。

【0022】この状態においても、インク袋50は大気¹⁰に開放されていて脱気装置20からの送液圧が記録ヘッド4に作用せず、また中継タンク28からインクジェット式記録ヘッド4までの流路には依然として脱気インクが充填しているので、記録ヘッド4へのインクの充填操作を必要とすることなく、印刷を継続して実行することができる。

【0023】このようにして所定量のインクがインク袋50に充填されると、検知板55によりインクフルが検出されるので、止弁24が閉弁されてインク袋50へのインクの補給が終了する。そして止弁54が閉弁されて²⁰中継タンク28が大気と遮断され、また送液ポンプ46が停止される。

【0024】さらに印刷が進んで元タンク16のインクがニアエンドにまで減少すると、センサ16bから信号が出力して警報が発せられるので、ボトル等に収容されている非脱気、もしくは脱気が不十分なインクを元タンク16に補充する。もとより、ニアエンド状態でも中継タンク28には以後の脱気操作に要する時間の印刷量を賄うことができる量のインクが中継タンク28に収容されているから、元タンク16へのインクの補給に際して³⁰も印刷の中断を必要としない。

【0025】なお、上述の実施例においては元タンク16と中継タンク28との間に容器43を接続し、容器43のインクを加熱するようにしているが、図4に示したように元タンク16にヒータ44を設けるとともに、上部空間に真空ポンプ40の負圧を作用させるようにしてもよい。

【0026】この実施例によれば、当日の作業開始前に予めヒータ44に通電して脱気を行うことにより、大量の脱気インクをストックすることができ、中継タンク2⁴⁰8の小型化が可能となって中継タンク28をキャリッジ3に搭載することができる。

【0027】また、上述の実施例においては、中継タンク28に可撓性のインク袋50を使用しているが、例えば第1実施例に例を採って説明すると、図5に示したように金属等の遮気性材料からなる密封容器60を用い、これに2種類の液位、つまりインクフル状態、及びインクニアエンド状態となる液位を検出するセンサ61、62を設け、また止弁63を介して大気に開放可能な流路を形成しても同様の作用を奏することは明らかである。⁵⁰

【0028】そしてこの実施例によれば、元タンク16を仮貯蔵タンクとして使用し、また中継タンク60の容量をインク容器と同等以上にしておくことにより、元タンク16にインクを注入後、これをインクを脱気装置20により一気に脱気して中継タンク28に貯蔵することにより、脱気操作の周期を延長でき、またインクの品質をより安定化することができる。

【0029】なお、上述の実施例においては真空ポンプにより負圧を作用させた状態で加熱して高い効率で脱気を実行しているが、加熱だけでも印刷に適した程度まで脱気できる場合には、真空ポンプを不要とすることができる。

【0030】また、上述の実施例においては中継タンクにインクを補給するために送液ポンプ46を使用しているが、元タンク16～19の水頭圧を利用できる場合には不要とすることができ、中継タンク28～31が小型の場合には、キャリッジ3に搭載することができる。

【0031】なお、上述の実施例においては記録媒体を記録ヘッドとを共に移動させながら、記録面を走査する記録装置に例を採って説明したが、被記録体をフラットベッドに固定し、記録ヘッドを2次元に移動させたり、また記録ヘッドとフラットベッドを直交方向に移動させる形式の記録装置に適用することができ、これによればインクの種類を変えるだけで、記録用紙以外の媒体、例えば金属や高分子材料の板材にも印刷が可能となる。

【0032】

【発明の効果】以上説明したように本発明においては、印字信号に対応してインク滴を吐出する記録ヘッドをキャリッジに搭載し、インク容器から送液手段によりインク供給チューブを介してインクを前記記録ヘッドに供給するインクジェット式記録装置において、インク容器が外部からインクの注入が可能な元タンクとして構成され、元タンクから記録ヘッドの間にインクを常温以上に加熱する加熱手段を備えた脱気手段を介して記録ヘッドに供給するインクカートリッジの交換による脱気インクの補給が不要とすることができるばかりでなく、インクカートリッジ交換後のインク充填操作を不要として印刷の能率を向上することができる。

【0033】また、元タンクにインクを継ぎ足し補充できるため、インクを有効に利用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のインクジェット式記録ヘッドの一実施例を示す概観図である。

【図2】本発明の一実施例を示す図である。

【図3】同上装置の流路構成を示す図である。

【図4】本発明の他の実施例を、流路構成でもって示す図である。

【図5】本発明の他の実施例を、流路構成でもって示す図である。

【図6】大型のインクジェット式記録ヘッドに使用する

7

インクカートリッジの一例を示す図である。

【符号の説明】

3 キャリッジ

4、5 記録ヘッド

9 インクタンク収納部

12～15 インク供給チューブ

8

*16～19 元タンク

20～23 脱気装置

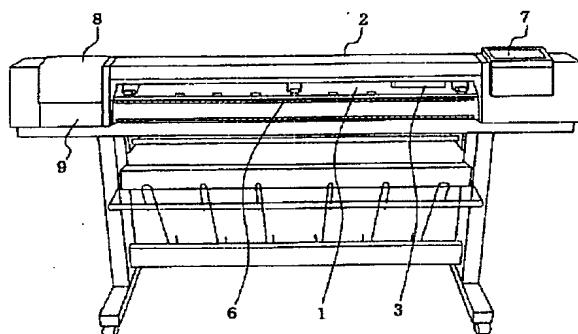
24～27 止弁

28～31 中継タンク

43 容器

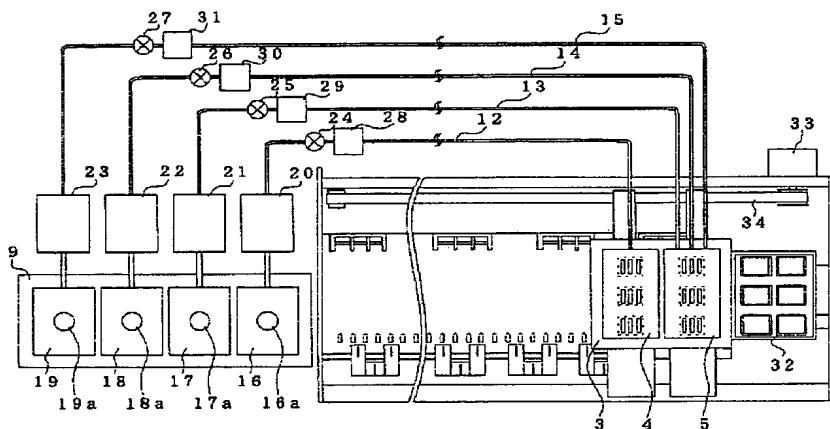
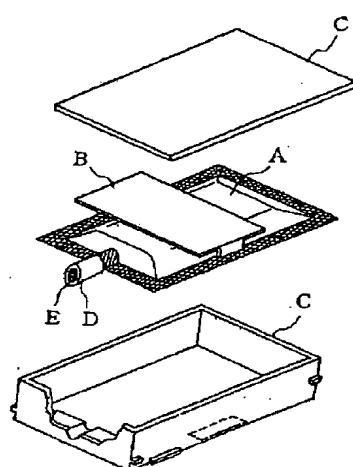
* 44 ヒータ

【図1】

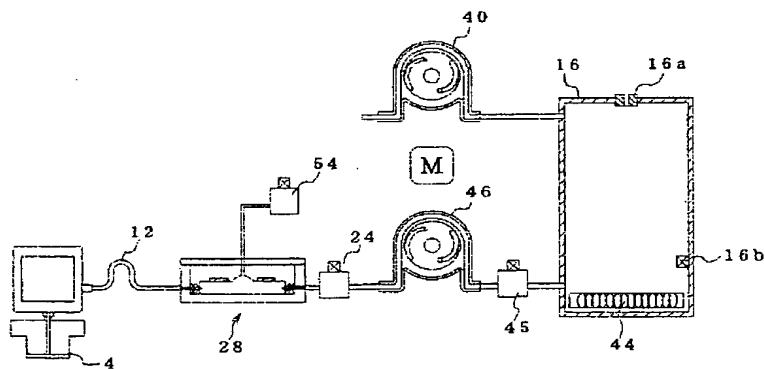


【図2】

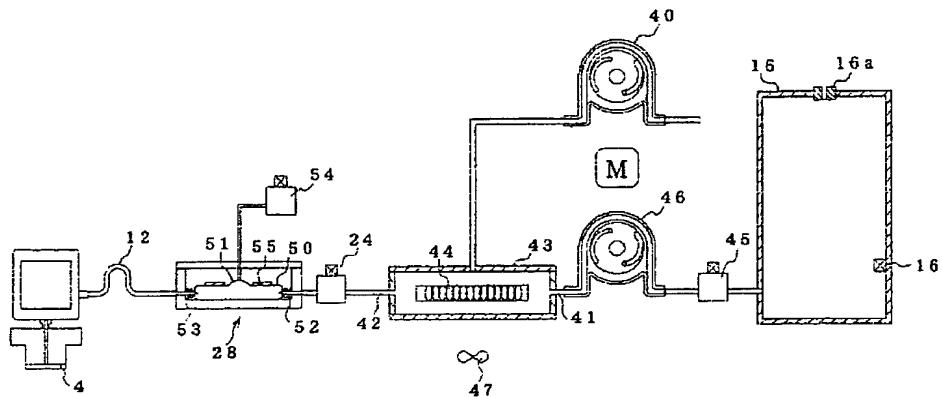
【図6】



【図4】



【図3】



【図5】

